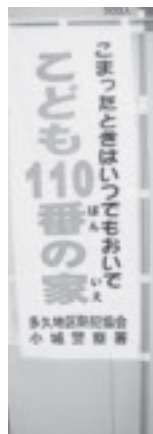


危険から子どもを守る場所の目印です

『子ども110番の家』のぼり旗

「子ども110番の家」ののぼり旗がありますので、希望される方は、受け取りに来てください。



問い合わせ

小城警察署多久幹部派出所内

多久地区防犯協会

☎ 75-3141

『子ども110番の家』

危険を感じて助けを求めてきた子どもを一時的に保護し、警察などに通報してくれるのが「子ども110番の家」です。これは、通学路周辺の民家や商店、コンビニエンスストアなどがボランティアとして活動しているものです。

市内には約300軒の「子ども110番の家」があり、建物の目立つところにマークも貼られています。

身近なところからはじめましょう

マイバッグ持参にご協力ください

6月は買い物袋持参運動の強調月間です！

国内で年間に消費されているレジ袋はおよそ300億枚。このレジ袋のために、原油は約5億6千万リットル消費されています。このように膨大なエネルギーを使って生産されたレジ袋の多くは、家庭からごみとなつて出て行きます。

日常の買い物時に買い物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋を削減することが、ごみを減らすだけでなく、貴重なエネルギー資源を無駄遣

いせず、地球温暖化防止などの環境問題に取り組むことにもなります。

買い物袋持参運動は、誰もが気軽に取り組めるものです。さつそく、今日から始めてみませんか。

○佐賀県マイバッグ・ノーレジ袋推進店

推進店のステッカーが貼つてあるお店では、
・ 買い物袋の持参を呼びかけています。
・ 簡易包装を推進しています。



地域はどこに「子ども110番の家」があるのか親子で確認しておき、とつきの時の助けの求め方などについて話し合うようにしましょう。

「子ども110番の家」のマークがなくとも、怖

いと思つたらすぐに近くのお店や家に逃げ込みましょう。



・ マイバッグ持参者、レジ袋辞退者にポイント還元などの特典・サービスを提供しています。

問い合わせ

市民生活課 生活環境係

☎ 75-6117

マイバッグキャンペーンのシンボルマークと標語募集

■募集期間

6月29(金)当日消印有効

■応募条件

シンボルマークと標語をそれぞれ一人一作品

■応募先

☎ 812-8577

(住所不要)福岡県循環型社会推進課

「シンボルマーク・標語」係

問い合わせ 佐賀県廃棄物対策課

☎ 25-7078

広域清掃センター

建設推進課

だより

多久市または小城市が、それぞれ単独で清掃センター（ごみ焼却場）を建設する場合、国の交付金対象とならないため、多久市と小城市共同で「小城・多久広域清掃センター（仮称）」建設を行うこととしています。

そのため、小城市役所内に「広域清掃センター建設準備室」を設置しておりましたが、平成19年4月1日に「広域清掃センター建設推進課」と名称が改められました。

全国的に新たな清掃センターを建設するまでには、10年以上の期間を要することを考えますと、早急に「小城・多久広域清掃センター（仮称）」建設計画を進めていかなければなりません。

今後は、近年に建設された【清掃センター・リサイクル施設】などのご紹介や【分別・リサイクル方法】についてお知らせを予定しております。

問い合わせ

市民生活課 生活環境係

☎ 75-6117

小城市

広域清掃センター建設推進課

☎ 73-8816